

今後の課題・検討体制

今後の課題

- (1) 水道水への放射性物質の影響メカニズムの検証
- (2) 水道水の摂取制限の要請や解除に関する考え方
- (3) 水道水中の放射性物質の低減方策
- (4) モニタリング結果を踏まえた中長期的な取組

検討体制（案）

- 放射性物質による水道水への影響等に係る上記の課題を検討するため、新たに健康局長の私的諮問機関として「水道水における放射性物質対策検討会（仮称）」を開催。（メンバー案は別紙のとおり）
- 「今後の水道水中の放射性物質のモニタリング方針」に基づき蓄積されたモニタリング結果等を踏まえた当該検討会における検討内容を、厚生科学審議会生活環境水道部会に報告し、審議。

(別紙)

水道水における放射性物質対策検討会（仮称）メンバー案

浅見真理 国立保健医療科学院生活環境研究部水管理研究分野
上席主任研究官

大原利真 国立環境研究所アジア自然共生研究グループ
広域大気モデリング研究室長

櫛田尚樹 国立保健医療科学院生活環境部長

朝長万左男 日本赤十字社長崎原爆病院長

古米弘明 東京大学大学院工学研究科教授

眞柄泰基 トキワ松学園理事長

榊本和義 高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター
放射線管理室室長

森口祐一 東京大学大学院工学研究科教授

(50音順、敬称略)